

平成23年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		保育園運営		款	4	項	2	目	1	事業	18	整理番号	278						
担当部課名		保健福祉部保育課		係名	管理係			連絡先電話番号	1372		昨年度整理番号	272							
上位施策No・施策名		24 保育の充実		予算事業区分							既定事業								
事務事業の概要	事業開始	昭和	▼	36	年度	<input checked="" type="checkbox"/>	実施計画事業	分野	2	政策番号	2	施策番号	1	事業コード	1,2	<input checked="" type="checkbox"/>	行革計画事業	<input checked="" type="checkbox"/>	主要事業
	対象	<input checked="" type="checkbox"/>	個人	<input type="checkbox"/>	世帯	<input checked="" type="checkbox"/>	団体	<input type="checkbox"/>	その他	<input checked="" type="checkbox"/>	内部管理	根拠法令等	(1) 児童福祉法第24条第1項、39条 (2) 児童福祉施設最低基準(厚生省令)						
	事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	○保護者が昼間に常態的に労働しているなどで保育に欠けている児童 ○区が指定管理者を指定して運営する保育所										活動指標名(式)	(1) 在籍児童数 (2) 指定管理保育所数						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	○保育を必要とする児童の預かり保育を実施する。 ○産休明け保育、延長保育、年末保育、緊急一時保育などの保育サービスを行う。 ○区立保育園の保育事業について、指定管理者に事業委託を行う。										成果指標	※(代)=適当な指標がない場合の代替指標						
	成果指標名(1)	入所実施率		算定式・指標の説明等	新規入所児童数÷申込者数				成果指標名(2)	待機児童数									
	算定式・指標の説明等											算定式・指標の説明等							
区分		単位	20年度		21年度		22年度		23年度		計画(目標値)に対する22年度の達成率 %								
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画											
指標	活動指標(1)	①	人	47,614	48,168	48,271	48,204	48,753	48,204	101.1									
	活動指標(2)	②	所	3	4	4	4	4	4	100.0									
	成果指標(1)	③	%	62.1	90.0	50.6	90.0	43.2	90.0	48.0									
	成果指標(2)	④	人	86	0	137	0	23	0										
総事業費・コスト把握	事業費	⑤	千円	1,867,817	2,124,051	2,070,846	2,329,827	2,235,071	2,378,475	22年度予算執行率%	95.9								
	(内) 投資的経費等	⑥	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項 1. 活動指標(1)は区立園の毎月在籍児童数の年間積算数 2. 成果指標(1)は認可保育園の年間入所承諾件数を年間申込件数で除した値									
	(内) 委託費	⑦	千円	903,200	1,147,202	1,110,079	1,270,341	1,220,693	1,320,326										
	職員数(常勤 非常勤)	⑧	人	769.37 51.90	753.37 48.90	750.05 48.80	743.20 57.30	736.65 77.00	733.85 87.90										
	人件費	⑨	千円	6,962,799	6,689,172	6,659,694	6,629,344	6,570,918	6,545,942										
	(内) 非常勤職員分	⑩	千円	145,320	136,578	136,298	169,035	227,150	259,305										
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪	千円	8,975,936	8,949,801	8,866,838	9,128,206	9,033,139	9,183,722										
	単位あたりコスト(⑪-⑥)÷①	⑫	円	188,515	185,804	183,689	189,366	185,284	190,518										
	受益者負担分	⑬	千円	966,044	958,346	1,011,702	956,109	1,010,045	993,901										
	国からの補助金等	⑭	千円	0	0	0	0	0	0										
都からの補助金等	⑮	千円	20,044	22,427	18,835	20,284	22,540	14,460											
その他の補助金等	⑯	千円	0	0	0	0	0	0											
特定財源計(⑬+⑭+⑮+⑯)	⑰	千円	986,088	980,773	1,030,537	976,393	1,032,585	1,008,361											
差引:一般財源(⑰-⑬)	⑱	千円	7,989,848	7,969,028	7,836,301	8,151,813	8,000,554	8,175,361											
受益者負担比率⑬÷⑪	⑲	%	10.8	10.7	11.4	10.5	11.2	10.8											

平成23年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 278

22年度の事業実施状況	(1) 主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
				一般保育	40
		管理運営委託(指定管理者)	4	園	783,559
		調理業務・用務業務委託	17	園	340,294
		延長保育	38	園	161,849
		その他(産休明け保育、緊急一時保育、園外保育、年末保育 ほか)	247,709		
	(2) 事業実績	平成22年度から延長保育を新規に2園(累計38園)で実施するとともに、調理・用務業務委託も新たに5園(累計17園)で開始しました。通常保育以外でも、緊急一時保育や年末保育(5園)などを実施しました。また、心理職による巡回指導や職員が区の保育実践について学ぶ研修の実施など、保育サービスの質を高める取組も行いました。			

協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 一部実現している	(2) 協働等の相手 社団法人・財団法人等公益団体((3)へ)	
	(3) 協働等の形態 指定管理者	(4) 協働等の今後のあり方 実施継続	

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	少子化が進む一方、経済状況の変化や就労形態の多様化に伴い、保育需要は増大しています。昭和59年から延長保育、平成元年度から産休明け保育、平成2年度から緊急一時保育、平成12年度から年末保育が開始されました。また、21年4月から新たに1園が指定管理保育所となり、4園の区立保育園が公設民営化されています。
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	保育園入所待機児童の解消に関する要望が多く寄せられているほか、延長保育をはじめとした多様な保育サービスに関するニーズがあります。
	今後の予測	経済情勢の悪化や女性の社会進出に伴う共稼ぎ世帯の増などにより、保育需要はより一層増加していくものと見込まれます。

評価と課題	保育園では、様々な保育サービスを行いながら円滑な園運営に向けて日々取り組んでいます。これらの保育サービスを充実させていく一方で、急増する保育需要に的確に対応していくための施設整備計画として「保育に関する安全・安心プラン」を平成21年9月に策定し実行するとともに、計画を上回る需要に対しても迅速に対応した結果、平成22年4月の待機児童数は23区最小の23名となり、一定の成果をあげました。一方で、指定管理者への移行については、計画どおりには進んでいない状況です。
-------	--

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業の方向性	○ 拡 充 ● 現状維持 ○ 縮 小 ○ 廃 止
		II 事業の改善	○ 事業内容の変更 ● 実施方法の変更
	<p>調理・用務業務の委託、延長保育実施園の増など、現行計画に基づく保育園運営の見直しについては、着実に実施をします。また、指定管理者への移行についても、現行計画(あと7園を移行)を実施することを最優先課題とし、具体的な取組スケジュール及び実施内容を検討のうえ、具体化に向けた取組を着実に進めます。</p> <p>また、『保育に関する安全・安心プラン』策定後の就学前人口や保育需要の増加等に対応し、今後も待機児解消状態を継続させるために、保育サービスに係る新たなプランを総合的に検討・策定します。検討にあたっては、厳しい財政状況や多くの区立施設が経年による更新期を迎えること等を踏まえ、民間による認可保育所等による施設増設計画に加え、効率的かつ効果的な社会基盤の整備の観点から、既存施設の再配置及び有効活用の視点を踏まえることとします。さらに、保育サービスの拡充に伴う保護者負担の公平性等の課題についても、併せて検討を進めます。</p>		

特記事項	
------	--

平成23年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		民営保育園等に対する保育委託		款	4	項	2	目	1	事業	21	整理番号	281
担当部課名		保健福祉部保育課		係名	管理係			連絡先電話番号	1372		昨年度整理番号	275	
上位施策No・施策名		24 保育の充実		予算事業区分							既定事業		
事務事業の概要	事業開始	昭和	▼	22年度	<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野			政策番号	施策番号	事業コード	<input checked="" type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 主要事業		
	対象	<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理			根拠法令等			(1) 児童福祉法第24条、第51条第1号 (2) 児童福祉法による保育所運営費国庫負担金について					
	事業の目的・目標	(対象をどのような状態にしたいのか) ○保護者の就労・疾病等により、保育に欠ける乳幼児を、区内公立保育所以外の保育所に入所させた場合に、その保育所に対し運営費を支払うことにより、保育所運営の安定及び入所児童の安全で快適な保育を確保します。			活動指標名(式) (1) 延入所児童数 (2)								
	活動内容	(事務事業の内容、やり方、手順) ○認可保育所に対し、保育に欠ける児童の入所人数や職員配置に応じて、国及び杉並区で定めた保育所運営費を支払う。			成果指標 ※(代)=適当な指標がない場合の代替指標 成果指標名(1) 入所実施率 算定式・指標の説明等 延入所児童数÷延入所申込児童数(延入所児童数+延待機児童数) 成果指標名(2) 算定式・指標の説明等								
区分		単位	20年度		21年度		22年度		23年度		計画(目標値)に対する22年度の達成率 %		
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画					
指標	活動指標(1)	①	人	14,049	14,004	14,649	14,868	15,166	16,608		102.0		
	活動指標(2)	②											
	成果指標(1)	③	%	97.9	100.0	98.8	100.0	99.1	100.0		99.1		
	成果指標(2)	④											
総事業費・コスト把握	事業費	⑤	千円	1,734,358	1,817,704	1,812,292	1,913,710	1,886,104	2,067,282		22年度予算執行率% 98.6		
	(内)投資的経費等	⑥	千円	0	0	0	0	0	0		特記事項 1. 活動指標(1)は私立保育園(区外公立園を含む)の毎月在籍児童数の年間積算数 2. 成果指標(1)の入所率は、申込者が待機児童とならずに入所できた割合。 ※待機児童は、認可保育所入所希望者全体の1% 整理番号278「保育園運営事業」に入所率(申込者が認可保育所に入園できた割合)とは異なる角度で成果を検証		
	(内)委託費	⑦	千円	0	0	0	0	0	0				
	職員数(常勤 非常勤)	⑧	人	0.84 0.00	0.84 0.00	0.84 0.00	0.84 0.00	0.64 0.00	0.44 0.00				
	人件費	⑨	千円	7,602	7,458	7,458	7,493	5,709	3,925				
	(内)非常勤職員分	⑩	千円	0	0	0	0	0	0				
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪	千円	1,741,960	1,825,162	1,819,750	1,921,203	1,891,813	2,071,207				
	単位あたりコスト(⑪-⑥)÷①	⑫	円	123,992	130,331	124,223	129,217	124,740	124,711				
	受益者負担分	⑬	千円	273,431	269,980	291,345	278,840	305,227	323,806				
	国からの補助金等	⑭	千円	374,504	377,357	375,286	403,784	353,438	410,677				
	都からの補助金等	⑮	千円	173,326	180,286	180,813	195,027	211,103	201,513				
	その他の補助金等	⑯	千円	0	0	0	0	0	0				
特定財源計(⑬+⑭+⑮+⑯)	⑰	千円	821,261	827,623	847,444	877,651	869,768	935,996					
差引:一般財源(⑰-⑬)	⑱	千円	920,699	997,539	972,306	1,043,552	1,022,045	1,135,211					
受益者負担比率⑬÷⑪	⑲	%	15.7	14.8	16.0	14.5	16.1	15.6					

平成23年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 281

22年度の事業実施状況	(1) 主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		委託費・国基準運営費	15,166	人	1,317,295
	委託費・区加算運営費	15,166	人	568,809	
	その他 ()			0	
	(2) 事業実績	社会情勢の変化により保育需要は急激に増大しましたが、私立認可保育所及び区外認可保育所への運営費を支払うことにより、安定した園運営や安全な保育環境を確保しながら、多くの入所児童を受入れることができました。			

協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している	(2) 協働等の相手 社団法人・財団法人等公益団体((3)へ)	
	(3) 協働等の形態 協働[補助・助成]	(4) 協働等の今後のあり方 実施継続	

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	開始当初、保育は措置でしたが、平成9年6月の児童福祉法改正により、保護者が保育所を選択し、区が保育の実施をする方式に変わりました。そして平成12年に、国は保育所の設置主体に対する制限を緩和し、社会福祉法人以外の者が保育事業を行えるようになりました。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	待機児童を解消してほしい、長時間保育や一時保育を実施してほしい、といった内容が寄せられています。
	今後の予測	社会情勢の変化により、保育需要は増大傾向にあり、待機児童の解消とともに多様な保育需要への対応が求められています。
	評価と課題	保育需要は急激に増大しましたが、私立認可保育所及び区外認可保育所への運営費を支払うことにより、安定した園運営や安全な保育環境を確保しながら、多くの入所児童を受入れることができました。

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業の方向性	<input checked="" type="radio"/> 拡 充 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 縮 小 <input type="radio"/> 廃 止
			<input checked="" type="radio"/> 事業内容の変更 <input type="radio"/> 実施方法の変更
	保育需要の増大に応じて、定員の弾力的運用(定員を超える児童の受入れ)や定員変更(増加)を実施するとともに、分園の新設を検討します。私立保育園の運営費については、国や都の補助も見込めることから、今後の待機児童対策においては、保育サービスに係る公民の役割分担と責任を明確にしたうえで、私立保育園の増設、既存保育室の私立保育園分園化などを進めることを検討していきます。		

特記事項	
------	--

平成23年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 282

22年度の事業実施状況	(1)主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
				各種印刷物(入園のしおり・通知書・納付書等)	
		各種通知郵送			2,000
		保育補助システム保守委託等			2,222
		システム関連消耗品			525
		その他 (事務用品購入・障害者調整会議医員報酬など)			1,321
	(2)事業実績	○待機児解消のため、認可保育園分園1ヶ所と区保育室を5ヶ所を開設しました。 ○入園選考に係る調整指数を昨年に引き続き改正し、順位付けし易くしました。 ○保育補助システムの改修を行い、調整指数の改正を反映させるとともに、事務の効率化に役立てました。 ○保育料収納率の維持向上に努め、収納目標を達成しました。			

協働等点検	(1)協働等は実現しているか <input type="text" value="一部実現している"/>	(2)協働等の相手 <input type="text" value="企業・個人事業者((3)へ)"/>	
	(3)協働等の形態 <input type="text" value="委託 [業務量の50%未満に相当]"/>	(4)協働等の今後のあり方 <input type="text" value="実施継続"/>	

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	○育児休業制度の充実など、女性の社会進出が増加し、保育所入所及び延長保育希望者が増えていきます。これまでも、入所定員増、認可保育園分園開設、区保育室開設など待機児解消に努めてきましたが、近年の景気悪化の影響等から保育需要が増し続けており、完全な待機児童の解消には至っていません。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	○保育定員の増加や延長保育制度の充実に加え、新たに保育所設置を行うなど、待機児童の解消をしてほしい。 ○園庭の無い保育室ではなく、保育園を設置してほしい。 ○入園選考の基準を明確にし、公平に選考してほしい。
	今後の予測	○電力不足の影響により、企業が就業時間の変更を迫られていることから、延長保育や休日保育の確保も求められており、多様な保育需要が必要とされることが予測されます。
	評価と課題	数年来急増している入園申込に対し、公平公正な入園選考を行うとともに、認可保育園分園の増設・区保育室の増設により待機児解消に成果をあげました。また、既存の保育室退所後の受け皿となる保育室も計画され待機児対策も進んでいますが、入所後安心して働き続けることのできる環境を整備するため十分な数の認可保育園の開設が望まれます。一方、増大する区の財政負担に対して受益者負担の適正化を含めた検討が必要となっています。

改善・見直しの方向 (中長期)	今後の方向性 (見直しの視点)	I 事業の方向性	○ 拡 充 ● 現状維持 ○ 縮 小 ○ 廃 止
		II 事業の改善	○ 事業内容の変更 ● 実施方法の変更
	認可保育園分園、区保育室の増設に伴い、入所受付及び入所後の事務量が増加していることから、事務分担等を見直す必要があります。さらに、これらを増設したことにより、選考会議の対象数が増えたため、選考会議期間が長引いており、限られた時間で終わるよう日程調整等の改善が必要です。 入園選考にかかる基準(調整指数)をさらに明確化し、順位付けがし易くなるよう検討を続けていくことや、会議が迅速に進む体制づくりの検討も必要です。さらには調整指数等の見直しを継続的に進んでいく上では、これに合わせた保育補助システムの改正が必須です。		

特記事項	
------	--

平成23年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		民営保育園に対する運営費加算			款	4	項	2	目	1	事業	23	整理番号	283	
担当部課名		保健福祉部保育課			係名	管理係			連絡先電話番号	1372		昨年度整理番号	277		
上位施策No・施策名		24 保育の充実			予算事業区分								既定事業		
事務事業の概要	事業開始	昭和	▼	年度	<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業	分野	2	政策番号	2	施策番号	1	事業コード	4	<input checked="" type="checkbox"/> 行革計画事業	<input type="checkbox"/> 主要事業
	対象	<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理			区内私立保育所11園及び分園6園		根拠法令等	(1) 児童福祉法第51条 (2) 杉並区私立保育所運営費加算金交付要綱							
	事業の目的・目標	(対象をどのような状態にしたいのか)			○保育所運営の安定させ、児童の安全で快適な保育環境や多様な保育サービスを確保します。		活動指標名(式)	(1) 延在籍児童数 (2)							
	活動内容	(事務事業の内容、やり方、手順)			○私立認可保育所に対して、入所児童数や職員配置等により要綱の基準に応じた区独自加算の運営費を支払う。		成果指標	※(代)=適当な指標がない場合の代替指標 成果指標名(1) 在籍率 算定式・指標の説明等 延在籍児童数÷延園児定員数 成果指標名(2) 算定式・指標の説明等							
区分		単位	20年度		21年度		22年度			23年度		計画(目標値)に対する22年度の達成率 %			
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画		計画					
指標	活動指標(1)	①	人	13,810	13,860	14,208	14,580	14,496	15,744			99.4			
	活動指標(2)	②													
	成果指標(1)	③	%	99.6	100.0	102.5	100.0	103.5	100.0			103.5			
	成果指標(2)	④													
総事業費・コスト把握	事業費	⑤	千円	337,313	347,626	335,481	369,278	357,677	403,165	22年度予算執行率%		96.9			
	(内) 投資的経費等	⑥	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項					
	(内) 委託費	⑦	千円	3,378	3,702	3,430	4,475	3,824	4,172						
	職員数(常勤 非常勤)	⑧	人	0.94 0.00	0.94 0.00	0.94 0.00	0.94 0.00	0.84 0.00	0.44 0.00						
	人件費	(内) 常勤職員分(超勤分含)	⑨	千円	8,507	8,346	8,346	8,385	7,493	3,925					
		(内) 非常勤職員分	⑩	千円	0	0	0	0	0	0					
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪	千円	345,820	355,972	343,827	377,663	365,170	407,090						
	単位あたりコスト(⑪-⑥)÷①	⑫	円	25,041	25,683	24,200	25,903	25,191	25,857						
	財源	受益者負担分	⑬	千円	1,800	1,800	1,800								
		国からの補助金等	⑭	千円	0	0	0								
都からの補助金等		⑮	千円	0	0	0									
その他の補助金等		⑯	千円	0	0	0									
特定財源計(⑬+⑭+⑮+⑯)		⑰	千円	1,800	1,800	1,800	0	0	0						
差引: 一般財源(⑪-⑰)		⑱	千円	344,020	354,172	342,027	377,663	365,170	407,090						
受益者負担比率⑬÷⑪	⑲	%	0.5	0.5	0.5	0.0	0.0	0.0							

平成23年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 283

22年度の事業実施状況	(1) 主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
				民営保育園に対する運営費	14,496
		民営保育園児健診委託等			16,125
		巡回指導			705
		その他 ()			0
	(2) 事業実績	社会情勢の変化により保育需要は急激に増大しましたが、杉並区独自の運営費加算を交付することにより、より安定した園運営やより安全な保育環境を確保しながら、多くの入所児童を受入れることができました。			

協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している	(2) 協働等の相手 社団法人・財団法人等公益団体((3)へ)	
	(3) 協働等の形態 協働[補助・助成]	(4) 協働等の今後のあり方 実施継続	

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	女性の社会参加が進むなど社会環境が変化し、長時間保育、産休明け保育等保育需要も変化してきています。平成13年度に分園により駅前保育所を設置し、14年度には学校法人が保育所を新設しました。さらに、17年度に分園2園を、22年度に分園1園を、23年度に分園2園を設置しました。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	私立保育園連盟・保育部会から、職員の配置、運営管理費の増額など、毎年、運営費加算額の拡充について要望があります。保護者からは、長時間保育や一時保育の実施について要望が寄せられています。
	今後の予測	社会情勢の変化により、保育需要は増大傾向にあり、待機児童の解消とともに多様な保育需要への対応が求められています。そのため、分園の新設や運営費加算額の増額が必要になることも予想されます。
	評価と課題	社会情勢の変化により保育需要は急激に増大しましたが、私立認可保育所及び区外認可保育所への運営費を支払うことにより、安定した園運営や安全な保育環境を確保しながら、多くの児童を受入れることができました。なお、園要望の強い運営費の加算については、財源確保が課題となりますが、現行の国・都補助が国基準による保育料徴収を前提として積算されていることから、保育料の適正化、補助金のあり方、国の保育制度見直しの動向などをも総合的に踏まえ、慎重に検討する必要があると考えます。

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業の方向性	○ 拡 充 ● 現状維持 ○ 縮 小 ○ 廃 止
		II 事業の改善	● 事業内容の変更 ○ 実施方法の変更
	区独自加算のあり方については、私立保育園経営者から多くのご要望をいただいておりますが、厳しい財政状況のなかで慎重に検討していきます。なお、検討に際しては、子ども・子育て新システム法制化の動向、保育所設置運営基準の規制緩和など、保育を巡る状況が大きく変化しつつありますので、今後の区独自加算のあり方については、こうした諸状況も十分踏まえて検討していく必要があると考えます。		

特記事項	
------	--

平成23年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 284

22年度の事業実施状況	(1) 主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
				認証保育所運営費等補助	74
		認証保育所等保育料補助	7046	人	211,075
		認証保育所新規施設の開設準備経費	2	所	42,547
		施設賃貸料、事務経費 ほか			7,651
		その他 ()			0
	(2) 事業実績	待機児童解消へ向けた対策として、認証保育所を新たに1所(高円寺地域)開所しました。 また、認証保育所等保育料補助については、22年度より増額と新たな補助金の支給額区分の設定を行っています。			

協働等点検	(1) 協働等は実現しているか	(2) 協働等の相手	
	十分に実現している ▼	企業・個人事業者((3)へ) ▼	
	(3) 協働等の形態	(4) 協働等の今後のあり方	
	協働[補助・助成] ▼	実施継続 ▼	

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	平成13年10月事業開始。平成23年3月現在 認証保育所数15所 入所定員480名
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	平成18年度より保育料補助制度が開始され、利用者には好評です。一方、待機児童数の増加から、認証保育所整備への要望も増加しています。
	今後の予測	多様化した保育ニーズへの対応と待機児童の解消へ向けて、認証保育所の整備は今後も計画的に進めていくことになります。
評価と課題		認証保育所は東京における多様化した保育ニーズへの対応や、待機児童解消を迅速に図るための施設として整備が進められていますが、22年度は新たに1所整備をしました。認証保育所の開所にあたっては、東京都における基準・認証スケジュールに基づいて進めるものであることから、待機児童の状況などを把握しながら、計画的に進めていく必要があります。また、既存の施設が平成22年度で15所となり、保育の質の維持や事故等の防止のため引き続き都と連携して厳正な指導監督を行います。

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業の方向性	● 拡 充 ○ 現状維持 ○ 縮 小 ○ 廃 止
		II 事業の改善	● 事業内容の変更 ○ 実施方法の変更
	<p>認証保育所は駅前中心の立地、付加サービスの実施など、大都市の実情を踏まえ多様な保育ニーズに対応できる施設として保護者の評価も高く、この間増設に努めてきましたが、保育需要が高まるなかで3歳児以上の受入施設確保等の課題もあり、今後の増設については、近隣の保育施設の状況等も踏まえ、慎重に進めていきます。</p> <p>なお、認証保育所等保育料補助金については、平成22年度に増額と新たな補助金額の設定を行い、総体として認可保育園の負担レベルと均衡を図っていますが、より負担の公平性の徹底を進めるため、保育料のあり方について総合的に検討します。</p>		

特記事項	
------	--

平成23年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 285

22年度の事業実施状況	(1) 主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
			暖房費の補助	5	ヶ月
	家庭福祉員補助者健康診断料の補助	5	回	22	
	受託児童の受託前健康診断料の補助	39	人	110	
	その他 ()			66,206	
	(2) 事業実績	平成22年4月1日に杉並区で初めて家庭福祉員グループを2所開所しました。22年度中に新規家庭福祉員2所を開所しました。、23年度4月1日開所に向けて、家庭福祉員1所と家庭福祉員グループ2所の開所準備を行いました。			

協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者((3)へ)	
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当]	(4) 協働等の今後のあり方 実施継続	

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	家庭福祉員事業は昭和40年から開始し、家庭福祉員の数は昭和57年度には25人、平成19年度からは9人となりました。平成22年4月1日から杉並区初の家庭福祉員グループ2所開所しました。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	家庭福祉員の数が少なく地域が限られている、時間外保育の時間単位を細分化して欲しい、家庭福祉員の資格要件を緩和して欲しいといった要望があります。
	今後の予測	家庭福祉員制度の問い合わせや実施希望者が増加しています。
	評価と課題	家庭的な雰囲気で行う保育を行う家庭福祉員制度又は家庭福祉員グループ制度は利用者の評価も高く、また計画以上に受託率が増加しており、保育需要が一層高まるなかで重要な役割を果たしています。21年度と同様に家庭福祉員の数を増員していくことが課題でした。23年度は家庭福祉員拡充の計画であるので、家庭福祉員制度と家庭福祉員グループ制度について、国制度の導入も含めて見直し検討を行います。

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業の方向性	<input checked="" type="radio"/> 拡 充 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 縮 小 <input type="radio"/> 廃 止
		II 事業の改善	<input type="radio"/> 事業内容の変更 <input checked="" type="radio"/> 実施方法の変更
	<p>現在の家庭福祉員制度は区独自制度ですが、22年度からの複数によるグループ制の実施など、独自のメリットを活かして区民の保育ニーズにきめ細かに応えてきました。国においても、待機児解消対策として「小規模家庭保育事業」が新たに創設され、一定の補助も見込まれる状況となりました。このため、当区の保育施策全体の中での家庭福祉員制度の意義・役割を明確にしたうえで、国制度の区への導入・実施についても検討を進め、家庭福祉員制度全体の充実をめざしていきます。</p> <p>なお、小規模な保育施設の増加に伴い、保育の質や安全性の確保が大きな課題となることから、巡回指導の強化などにより一層徹底化を図っていきます。</p>		

特記事項	22年度4月1日から家庭福祉員グループ開所。
------	------------------------

平成23年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		グループ保育室の運営			款	4	項	2	目	1	事業	26	整理番号	286							
担当部課名		保健福祉部保育課			係名	指導係			連絡先電話番号	1389			昨年度整理番号	280							
上位施策No・施策名										24 保育の充実		予算事業区分				既定事業					
事務事業の概要	事業開始	平成	▼	13	年度	<input checked="" type="checkbox"/>	実施計画事業		分野	2	政策番号	2	施策番号	1	事業コード	6	<input type="checkbox"/>	行革計画事業	<input type="checkbox"/>	主要事業	
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理 子供の保育について、資格や技能経験を有する者で、定められた基準を満たし、区長が認定した者																			
	事業の目的・目標	(対象をどのような状態にしたいのか) ○保育需要の高い乳幼児保育の待機児解消と、創意工夫のある保育により、児童福祉の向上を図ります。																			
	活動内容	(事務事業の内容、やり方、手順) ○区が保育施設を整備し、育成した保育者グループに保育施設の運営を委託します。																			
		根拠法令等		(1) 杉並区グループ保育事業運営要綱 (2)																	
		活動指標名(式)		(1) 延受託児童数(グループ保育室) (2)																	
		成果指標		※(代)=適当な指標がない場合の代替指標																	
		成果指標名(1)		受託率(グループ保育室)																	
		算定式・指標の説明等		延受託児童数÷延定員数																	
		成果指標名(2)																			
		算定式・指標の説明等																			
区分		単位	20年度		21年度		22年度				23年度		計画(目標値)に対する22年度の達成率 %								
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	実績	計画	実績										
指標	活動指標(1)	①	人	513	540	538	540	539	540	99.8											
	活動指標(2)	②																			
	成果指標(1)	③	%	109	115	115	115	99.8	100	86.8											
	成果指標(2)	④																			
総事業費・コスト把握	事業費	⑤	千円	42,085	360,152	331,712	55,589	52,822	55,664	22年度予算執行率%		95.0									
	(内)投資的経費等	⑥	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項											
	(内)委託費	⑦	千円	35,502	97,609	82,942	39,178	39,053	39,178												
	職員数(常勤 非常勤)	⑧	人	0.60 0.00	1.88 36.10	2.25 44.70	0.70 0.20	0.50 0.10	0.50 0.10	開所した区保育室の運営のため22年度から新規事業として「杉並区保育室の運営」が設けられた。これにより、22年度からは職員数(人件費)も大きく減少している。											
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	⑨	千円	5,430	16,693	19,978	6,244	4,460					4,460							
		(内)非常勤職員分	⑩	千円	0	100,827	124,847	590	295					295							
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪	千円	47,515	477,672	476,537	62,423	57,577	60,419												
	単位あたりコスト(⑪-⑥)÷①	⑫	円	92,622	884,578	885,757	115,598	106,822	111,887												
	財源	受益者負担分	⑬	千円	0	0	0	0	0					0							
		国からの補助金等	⑭	千円	0	0	0	0	0					0							
		都からの補助金等	⑮	千円	18,772	0	43,939	0	20,609					0							
		その他の補助金等	⑯	千円	0	0	0	0	0					0							
特定財源計(⑬+⑭+⑮+⑯)		⑰	千円	18,772	0	43,939	0	20,609	0												
差引:一般財源(⑰-⑬)		⑱	千円	28,743	477,672	432,598	62,423	36,968	60,419												
受益者負担比率⑬÷⑪	⑲	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0													

平成23年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 286

22年度の事業実施状況	(1) 主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		保育委託経費 受託児童数	延539	人	38,570
	格差是正保育料補助	52	人	11,920	
	運営経費 ほか			2,332	
	その他 ()			0	
	(2) 事業実績	平成22年4月から両グループ保育室の定員を3名ずつ増員しました。			

協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者((3)へ)	
	(3) 協働等の形態 協働[委託]	(4) 協働等の今後のあり方 実施継続	

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	グループ保育室は平成13年12月の新規開設当初から保護者には好評の事業であり、予定を早めて平成17年6月に2所目を開設。こちらも順調な運営状況の中で、待機児解消に向けて、定員の弾力化を2回に分けて実施しました。平成22年4月から2所とも定員を3名ずつ増員しました。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	グループ保育室は、施設も大きく、明るい雰囲気の施設で、見学に訪れる保護者のほとんどが入所を決めています。2所とも受託率は高く、受託満了期までの入所を希望する保護者は多いが、3歳からの認可保育所の受託が約束されているものではないことが難点です。
	今後の予測	両グループ保育室とも好評のため、今後も受託率はほぼ安定するものと思われます。さらなる保育内容の充実を図ります。
	評価と課題	両グループ保育室とも、保護者から好評で、安定した運営をしています。グループ保育室は2歳児までの受託のため、3歳児以降の受け入れ先の確保が課題です。

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業の方向性	○ 拡 充 ● 現状維持 ○ 縮 小 ○ 廃 止
		II 事業の改善	○ 事業内容の変更 ○ 実施方法の変更
	グループ保育室は区民のグループが保育を実施する協働型の地域に密着した保育施設として実績をあげてきたが、平成21年度の家庭福祉員事業の見直しにより、地域人材による保育施設という点で、性格が似かよったものとなっており、今後のあり方について整理、見直しが必要となっています。このため、当区の保育施策全体の中での本事業の意義・役割を明確にしたうえで、グループ保育室、家庭福祉員双方のメリットを活かしながらより一層発展させる方向で、施設(事業)のあり方についての検討・見直しを行います。		

特記事項	
------	--

平成23年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 287

22年度の事業実施状況	(1) 主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		認定こども園運営費	579	人	12,092
		その他 ()			0
	(2) 事業実績	区内の認定こども園2園に加えて、杉並区在住の児童が在籍する世田谷区の認定こども園に対して補助金の交付を行いました。			

協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している ▼	(2) 協働等の相手 社団法人・財団法人等公益団体((3)へ) ▼	
	(3) 協働等の形態 協働[補助・助成] ▼	(4) 協働等の今後のあり方 実施継続 ▼	

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	平成19年の東京都認定こども園運営費等補助金交付要綱の制定を受け、杉並区認定こども園運営費等補助金交付要綱を定め、20年度から1園、21年度からさらに1園に対し、運営費等の補助金交付を行っています。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	保育に欠ける児童が幼稚園教育を受けられる場として、保護者から期待が寄せられています。
	今後の予測	保育園の待機児童の解消と幼稚園の定員割れの対策として、また、地域の子育て支援の総合施設として、認定こども園での受入れ児童の増加が見込まれます。
	評価と課題	保育園の待機児童の解消とともに、保育に欠ける児童が幼稚園教育を受けられる場として、保護者からの期待に応えています。国において、認定こども園制度の見直しが検討されていることから、動向を注視していきます。

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業の方向性	○ 拡 充 ● 現状維持 ○ 縮 小 ○ 廃 止
		II 事業の改善	○ 事業内容の変更 ○ 実施方法の変更
	現時点で区内における認定こども園新設の予定はありませんが、今後の国の「子ども・子育て新システム」に基づく幼保一体化の動向を見守りながら適切に対応していきます。		

特記事項	
------	--

平成23年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		病児・病後児保育		款	4	項	2	目	1	事業	29	整理番号	289						
担当部課名		保健福祉部保育課		係名	指導係			連絡先電話番号	1385		昨年度整理番号	283							
上位施策No・施策名		24 保育の充実		予算事業区分								既定事業							
事務事業の概要	事業開始	平成	▼	14	年度	<input checked="" type="checkbox"/>	実施計画事業	分野	2	政策番号	2	施策番号	1	事業コード	7	<input type="checkbox"/>	行革計画事業	<input type="checkbox"/>	主要事業
	対象	<input checked="" type="checkbox"/>	個人	<input type="checkbox"/>	世帯	<input type="checkbox"/>	団体	<input type="checkbox"/>	その他	<input checked="" type="checkbox"/>	内部管理	根拠法令等	(1) 杉並区病児・病後児保育事業実施要綱 (2) 杉並区病児・病後児保育事業実施要領						
	事業の目的・目標	(対象をどのような状態にしたいのか) ○病気やケガの症状安定期からでも安心して預ける場所があり、保護者の子育てと就労の両立を支援します。										活動指標名(式)	(1) 延利用者数 (2) 施設数						
	活動内容	(事務事業の内容、やり方、手順) ○医療機関内に付設された専用スペースに、看護師と保育士を配置した施設で、病気やケガの病状安定期から回復期の保育を行います。										成果指標	※(代)=適当な指標がない場合の代替指標						
	成果指標名(1)	利用率		算定式・指標の説明等	延利用者数÷登録者数				成果指標名(2)	登録者数		算定式・指標の説明等							
区分		単位	20年度		21年度		22年度			23年度		計画(目標値)に対する22年度の達成率 %							
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	実績	計画									
指標	活動指標(1)	①	人	1,039	1,400	1,136	1,400	1,214	1,400	86.7									
	活動指標(2)	②	所	2	3	2	3	2	2	66.7									
	成果指標(1)	③	%	115	100	111	100	103.3	100	103.3									
	成果指標(2)	④	人	900	1,400	1,026	1,400	1,175	1,400	83.9									
総事業費・コスト把握	事業費	⑤	千円	22,368	22,580	22,450	22,429	22,343	27,270	22年度予算執行率%	99.6								
	(内)投資的経費等	⑥	千円	0	0	0	0			特記事項									
	(内)委託費	⑦	千円	22,220	22,220	22,220	22,220	22,220	27,020										
	職員数(常勤 非常勤)	⑧	人	0.52 0.00	0.52 0.00	0.42 0.00	0.42 0.00	0.32 0.00	0.32 0.00										
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	⑨	千円	4,706	4,617	3,729	3,729	2,854	2,854									
		(内)非常勤職員分	⑩	千円	0	0	0	0	0	0									
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪	千円	27,074	27,197	26,179	26,158	25,197	30,124										
	単位あたりコスト(⑪-⑥)÷①	⑫	円	26,058	19,426	23,045	18,684	20,755	21,517										
	財源	受益者負担分	⑬	千円	0	0	0		0										
		国からの補助金等	⑭	千円	1,400	0	0		0										
都からの補助金等		⑮	千円	7,333	8,733	11,079		12,833											
その他の補助金等		⑯	千円	0	0	0		0											
特定財源計⑬+⑭+⑮+⑯		⑰	千円	8,733	8,733	11,079	0	12,833	0										
差引:一般財源⑰-⑬		⑱	千円	18,341	18,464	15,100	26,158	12,364	30,124										
受益者負担比率⑬÷⑪	⑲	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0											

平成23年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 289

22年度の事業実施状況	(1)主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		病児保育室運営委託	1	所	15,600
		病後児保育室運営委託	1	所	6,604
		運営事務費			139
		その他 ()			0
	(2)事業実績	22年度の病児保育室の利用実績は975人、病後児保育室の利用実績は269人です。21年度 登録者数1275人です。			

協働等点検	(1)協働等は実現しているか 十分に実現している	(2)協働等の相手 社団法人・財団法人等公益団体((3)へ)	
	(3)協働等の形態 協働[事業協力]	(4)協働等の今後のあり方 実施継続	

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	平成14年5月病後児保育室開所。利用実績は、18年度436人、19年度391人、20年度234人、21年度262人、22年度は269人です。23年度4月1日から休止します。平成20年1月病児保育室開所。利用実績は19年度55人、20年度805人、21年度874人、22年度は975人です。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	利用者からは、子育てと就労の支援事業として「安心して働くことができる」と評価されています。病児保育は、空きがあれば当日の予約ができ、また感染症にも対応しているため、利用者の評価は高いと言えます。一方で、予約がとれずに利用ができない、場所が遠い、という苦情もいただいています。
	今後の予測	病児保育の需要は増加傾向にあります。
	評価と課題	20年1月の病児保育室の開所により、「安心して働くことができる」ための制度として保護者に周知されてきたことが、登録者数の増加につながっています。特に病児保育は、当日の予約ができ、また感染症も対応しているため、利用度が高いものになっています。23年度から病後児保育室が運営事業者の都合で休止となりましたが、病児保育室の開設以降は利用者数が減少しており、病児保育室の定員を6名から8名に増加させることによりカバーをしました。

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業の方向性	<input checked="" type="radio"/> 拡 充 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 縮 小 <input type="radio"/> 廃 止
		II 事業の改善	<input type="radio"/> 事業内容の変更 <input type="radio"/> 実施方法の変更
	現在の病児保育室は区の北西部(西荻窪)に位置しているため、地理的に利用しにくいとの要望が区民から多数寄せられています。また、利用者数についてもフル稼働の状況にあり、急なニーズに十分に対応できているとは言えない状況です。そこで現在、和田地域に移転を予定している佼成病院に対して院内に病児保育室を開設してもらえよう要望書を提出しています。その後のさらなる増設については、佼成病院での新規開設後の利用状況や区民ニーズなどをみながら、中長期的に検討すべき課題と考えます。		

特記事項	平成23年4月1日から病後児保育室は休止しています。
------	----------------------------

平成23年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		民間認可外保育施設利用者負担軽減 款 4 項 2 目 1 事業 37						整理番号	297					
担当部課名		保健福祉部保育課		係名	管理係		連絡先電話番号	1376		昨年度整理番号	291			
上位施策No・施策名							24 保育の充実		予算事業区分			既定事業		
事務事業の概要	事業開始		平成	▼	21 年度	<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野		政策番号	施策番号	事業コード	<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 主要事業			
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 認可外保育施設に入所している保護者							根拠法令等		(1) 杉並区認証保育所等保育料補助事業実施要綱 (2)				
	事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか) ○待機児対策として、認可外保育施設に入所している保護者の負担軽減を図ります。							活動指標名(式)		(1) 補助金交付決定者数 (2) 延べ受給者数				
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) ○東京都などが定める認可外保育施設指導監督基準を満たしている施設に入所しており、認可保育園への入所申込を行い、待機期間中である保護者からの申請に基づき保育料の一部助成を行う。 ○補助金額 世帯収入700万円未満の場合は、月額20,000円 世帯収入700万円以上は、月額17,500円。							成果指標		※(代)=適当な指標がない場合の代替指標				
							成果指標名(1)		補助金交付決定者数(代)					
							算定式・指標の説明等							
							成果指標名(2)		延べ受給者数(代)					
							算定式・指標の説明等							
区分		単位	20年度		21年度		22年度		23年度		計画(目標値)に対する22年度の達成率 %			
			実績		計画		実績		計画(目標値)		実績			
指標	活動指標(1)	① 人			120	172	100	177	100	177.0				
	活動指標(2)	② 人			1,440	1,213	1,200	926	1,200	77.2				
	成果指標(1)	③ 人			120	172	100	177	100	177.0				
	成果指標(2)	④ 人			1,440	1,213	1,200	926	1,200	77.2				
総事業費・コスト把握	事業費	⑤ 千円	0	12,196	10,540	22,540	17,458	26,560	22年度予算執行率%			77.5		
	(内) 投資的経費等	⑥ 千円	0	0	0				特記事項					
	(内) 委託費	⑦ 千円	0	0	0	40	40	40						
	職員数(常勤 非常勤)	⑧ 人	0.00	0.00	0.44	0.00	0.44	0.00	0.54	0.00	0.42	0.00	0.52	0.00
	人件費	(内) 常勤職員分(超勤分含)	⑨ 千円	0	3,907	3,907	4,817	3,746	4,638					
		(内) 非常勤職員分	⑩ 千円	0	0	0	0	0	0					
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪ 千円	0	16,103	14,447	27,357	21,204	31,198						
	単位あたりコスト(⑪-⑥)÷①	⑫ 円		134,192	83,994	273,570	119,797	311,980						
	財源	受益者負担分	⑬ 千円	0	0	0								
		国からの補助金等	⑭ 千円	0	0	0								
都からの補助金等		⑮ 千円	0	0	0									
その他の補助金等		⑯ 千円	0	0	0									
特定財源計(⑬+⑭+⑮+⑯)		⑰ 千円	0	0	0	0	0	0						
差引: 一般財源(⑪-⑰)		⑱ 千円	0	16,103	14,447	27,357	21,204	31,198						
受益者負担比率⑬÷⑪	⑲ %		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0							

平成23年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 297

22年度の事業実施状況	(1) 主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
			民間認可外保育施設利用者負担軽減	926	人
	その他 ()				0
	(2) 事業実績	区内の該当施設には制度、制度の変更について周知し、補助対象となる新規入所者へ申請を促しました。			

協働等点検	(1) 協働等は実現しているか <input type="text" value="実現していない(実現は困難)((4)へ)"/>	(2) 協働等の相手 <input type="text"/>	
	(3) 協働等の形態 <input type="text"/>	(4) 協働等の今後のあり方 <input type="text" value="行政直轄"/>	

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	22年度は、補助金額の増額を図るとともに、対象者の要件を精査しました。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	補助対象施設の拡大や要件の緩和について要望があります。
	今後の予測	認可外保育施設の新設、補助対象施設の増加が見込まれるため、補助対象者(保護者)も増加するものと考えられます。
	評価と課題	認可保育園の待機児解消対策として、待機中に認可外保育施設に通所する場合の保育料負担を軽減するため、事業を開始しました。事業趣旨を徹底するため、平成22年度に補助対象者の要件について制度変更を行いました。

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業の方向性	<input type="radio"/> 拡 充 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 縮 小 <input type="radio"/> 廃 止
		II 事業の改善	<input checked="" type="radio"/> 事業内容の変更 <input type="radio"/> 実施方法の変更
認可保育園等に入所ができず待機児童となっている方が認可外保育施設(ベビーホテル)に入所される場合、保護者の保育料負担を軽減するために事業を開始しました。各保育施設保育料の保護者負担については、多様な保育施設の増設に伴い、より負担の公平性を確保することが課題になっていますが、国の「子ども・子育て新システム」の法制化に伴う指定制度の実施により、認可外保育施設の位置づけが大きく変わることも見込まれます。このため、今後の認可外保育施設(ベビーホテル)保護者に対する補助事業のあり方については、保育料等の利用者負担のあり方を検討する中で総合的に検討を行っていきます。			

特記事項	
------	--

平成23年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		杉並区保育室の運営		款	4	項	2	目	1	事業	38	整理番号	298		
担当部課名		保健福祉部保育課		係名	保育施設計画		連絡先電話番号	1388		昨年度整理番号	新				
上位施策No・施策名		24 保育の充実		予算事業区分								新規事業			
事務事業の概要	事業開始	平成	▼	22	年度	<input type="checkbox"/> 実施計画事業	分野	政策番号	施策番号	事業コード	<input type="checkbox"/> 行革計画事業	<input type="checkbox"/> 主要事業			
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人	<input type="checkbox"/> 世帯	<input checked="" type="checkbox"/> 団体	<input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 内部管理	根拠法令等 (1) 杉並区保育室事業実施要綱 (2)								
	事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	○待機児解消のための緊急対策として、杉並区保育室の整備・運営を行います。							活動指標名(式) (1) 区保育室数 (2)						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	○区施設の空きスペースや民間の空き店舗等を活用し、保育室の整備を行う。 ○区が運営する直営型保育室と民間事業者に運営を委託する委託型保育室により保育室を実施する。							成果指標 ※(代)=適当な指標がない場合の代替指標 成果指標名(1) 定員増を図れた人数(区保育室定員数) 算定式・指標の説明等 成果指標名(2) 算定式・指標の説明等						
区分		単位	20年度		21年度		22年度		23年度		計画(目標値)に対する22年度の達成率 %				
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画							
指標	活動指標(1)	①				13	13	17	100.0						
	活動指標(2)	②													
	成果指標(1)	③				349	351	529	100.6						
	成果指標(2)	④													
総事業費・コスト把握	事業費	⑤	千円			436,994	366,850	398,227	22年度予算執行率% 83.9						
	(内) 投資的経費等	⑥	千円			0	0	0	特記事項 本事業「杉並区保育室の運営」は、22年度にグループ保育室の運営から独立して設置した。						
	(内) 委託費	⑦	千円			83,505	76,270	77,128							
	職員数(常勤 非常勤)	⑧	人			0.30	0.00	1.78					63.20	2.58	85.50
	人件費	(内) 常勤職員分(超勤分含)	⑨	千円	0	0	2,676	15,878					23,014		
		(内) 非常勤職員分	⑩	千円	0	0	0	186,440					252,225		
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪	千円	0	0	439,670	569,168	673,466							
	単位あたりコスト(⑪-⑥)÷①	⑫	円			33,820,769	43,782,154	39,615,647							
	財源	受益者負担分	⑬	千円			0	0					0		
		国からの補助金等	⑭	千円			0	0					0		
		都からの補助金等	⑮	千円			0	0					0		
その他の補助金等		⑯	千円			0	0	0							
特定財源計(⑬+⑭+⑮+⑯)		⑰	千円	0	0	0	0	0							
差引: 一般財源(⑰-⑬)		⑱	千円	0	0	439,670	569,168	673,466							
受益者負担比率⑬÷⑪		⑲	%			0.0	0.0	0.0							

平成23年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 298

22年度の事業実施状況	(1) 主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		直営型保育室	6	園	66,749
		委託型保育室	7	園	300,101
		その他 ()			0
(2) 事業実績	直営型保育室は、21年度に開所した5園に加え、新たに1園が開所し6園(定員数138人)となりました。また、委託型保育室は、21年度に開所した3園に加え、新たに4園が開所し7園(定員数225人)となりました。				

協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 一部実現している	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者((3)へ)	
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当]	(4) 協働等の今後のあり方 実施継続	

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	長期の経済状況の低迷により保育需要が急増したことから、区では待機児童を解消するための緊急対策として、区保育室の整備を進め、22年度までに13箇所の保育室を開所しました。区保育室の設置基準は認可保育園の基準を準用しており、良好な保育環境を確保しています。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	保育園待機児解消の緊急対策として短期間で保育室を整備したことで、待機期間が短縮できたため好評でした。
	今後の予測	今後も保育需要は、増加するものと思われます。
評価と課題	保育園待機児解消の緊急対策として20年度から保育室の整備を進め、351人(13所)の定員増を図りました。今後は、暫定施設として設置している区保育室の今後のあり方について、抜本的に検討していく必要があります。	

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業の方向性	○ 拡 充 ● 現状維持 ○ 縮 小 ○ 廃 止
		II 事業の改善	● 事業内容の変更 ○ 実施方法の変更
	20年度から整備を進めてきた区保育室は、5年間程度の暫定的な設置を前提としており、初期施設は3年目を迎えたことから、今後の保育室のあり方についての検討が急務となっています。区保育室のあり方については、今後策定する予定の保育に関する新たなプランの中で、認可保育園の分園化や区立施設の有効活用による再配置等、総合的に検討のうえ再構築を図っていきます。		

特記事項	
------	--

平成23年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		私立幼稚園の預かり保育		款	4	項	2	目	1	事業	39	整理番号	299	
担当部課名		保健福祉部保育課		係名	子供園担当			連絡先電話番号	1303		昨年度整理番号	新		
上位施策No・施策名		24 保育の充実		予算事業区分								新規事業		
事務事業の概要	事業開始	平成	▼	22年度	<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野			政策番号	施策番号	事業コード	<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 主要事業			
	対象	<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理			根拠法令等		(1) 杉並区私立幼稚園長時間預かり保育事業費補助金交付要綱 (2)							
	事業の目的・目標	(対象をどのような状態にしたいのか) ○保育を必要としている園児に対して適切な保護を行い、幼稚園教育の振興と保育所等の待機児童の解消を図ることを目的としています。			活動指標名(式) (1) 杉並区私立幼稚園長時間預かり保育事業実施園数 (2) 杉並区立幼稚園長時間預かり保育事業対象園児延べ人数									
	活動内容	(事務事業の内容、やり方、手順) ○杉並区私立幼稚園長時間預かり保育事業を行う区内私立幼稚園に対して、算定基準に基づいて算定した額の範囲内で補助金を交付しています。			成果指標		※(代)=適当な指標がない場合の代替指標 成果指標名(1) (代)杉並区私立幼稚園長時間預かり保育事業実施園割合 算定式・指標の説明等 実施園数/区内私立幼稚園数×100 成果指標名(2) (代)杉並区立幼稚園長時間預かり保育事業対象園児延人数割合 算定式・指標の説明等 対象園児延人数/(区内私立幼稚園数×定員数×12ヶ月)×100							
区分		単位	20年度		21年度		22年度		23年度		計画(目標値)に対する22年度の達成率 %			
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画						
指標	活動指標(1)	①	—	—	—	3	1	3			33.3			
	活動指標(2)	②	—	—	—	720	135	720			18.8			
	成果指標(1)	③	—	—	—	100	33.3	100			33.3			
	成果指標(2)	④	—	—	—	100	18.8	100			18.8			
総事業費・コスト把握	事業費	⑤	千円	—	—	—	3,726	3,485	22,515		22年度予算執行率% 93.5			
	(内)投資的経費等	⑥	千円	—	—	—	0	0	0		特記事項			
	(内)委託費	⑦	千円	—	—	—	0	0	0					
	職員数(常勤 非常勤)	⑧	人				0.30	0.00	0.30	0.00			0.30	0.00
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	⑨	千円	0	0	0	2,676	2,676	2,676				
		(内)非常勤職員分	⑩	千円	0	0	0	0	0	0				
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪	千円	0	0	0	6,402	6,161	25,191					
	単位あたりコスト(⑪-⑥)÷①	⑫	円	0	0	0	2,134,000	6,161,000	8,397,000					
	財源	受益者負担分	⑬	千円	0	0	0	0	0	0				
		国からの補助金等	⑭	千円	0	0	0	0	0	0				
		都からの補助金等	⑮	千円	0	0	0	0	0	0				
その他の補助金等		⑯	千円	0	0	0	0	0	0					
特定財源計⑬+⑭+⑮+⑯		⑰	千円	0	0	0	0	0	0					
差引:一般財源⑰-⑬		⑱	千円	0	0	0	6,402	6,161	25,191					
受益者負担比率⑬÷⑪	⑲	%				0.0	0.0	0.0						

平成23年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 299

22年度の事業実施状況	(1) 主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		杉並区私立幼稚園長時間預かり保育事業費補助金	1	園	3,485
		その他 ()			0
	(2) 事業実績	区内私立幼稚園のうち、長時間預かり保育事業を行った幼稚園に対し保育事業の運営に要する経費の一部を補助しました。 補助対象は1園、対象園児数は延べ135人でした。			

協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 実現していない(実現は困難)((4)へ)	(2) 協働等の相手	
	(3) 協働等の形態	(4) 協働等の今後のあり方 実施継続	

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	杉並区私立幼稚園長時間預かり保育事業は平成22年度開始の事業ですが、各私立園の経営上の問題や事業の周知・PR不足などにより、実施園は1園に留まっています。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	共働きの家庭にとっては利用できる施設の選択肢が増えるため、長時間預かり保育を実施する私立幼稚園が増えることへの期待はあります。
	今後の予測	共働き世帯が増加し待機児童が解消されない中、従来の保育施設の拡充に加え、私立幼稚園での長時間預かり保育に対しては今後需要は高まってくると予測されます。
	評価と課題	幼稚園には給食設備がないなどの施設面での課題や従来運営していなかった時間帯や期間についても人を配置しなければならないなど人員面の課題があるほか、園によっては保育理念と相容れないことなど、実施園の増加を図るうえでは課題があります。私立幼稚園の長時間預かり保育については開始後間もないことから、今後区民への情報提供や周知を含め、利用拡大のための取組を強化していきます。

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業の方向性	<input checked="" type="radio"/> 拡 充 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 縮 小 <input type="radio"/> 廃 止
		II 事業の改善	<input type="radio"/> 事業内容の変更 <input type="radio"/> 実施方法の変更
		平成22年度は事業実施の初年度であったため、事業実施園は1園のみでした。保育施設の待機児童に加え潜在的な保育需要も多く見込まれることから、業態転換への支援なども検討しながら、長時間預かり保育事業を実施する園が増加するよう、区内私立幼稚園への働きかけを行っていきます。	

特記事項	
------	--

平成23年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		子供園維持管理		款	4	項	2	目	1	事業	40	整理番号	300			
担当部課名		保健福祉部保育課		係名	子供園担当		連絡先電話番号	1303		昨年度整理番号	新					
上位施策No・施策名		24 保育の充実		予算事業区分							新規事業					
事務事業の概要	事業開始	平成	▼	22	年度	<input type="checkbox"/>	実施計画事業		分野	政策番号	施策番号	事業コード	<input type="checkbox"/>	行革計画事業	<input type="checkbox"/>	主要事業
	対象	<input checked="" type="checkbox"/>	個人	<input type="checkbox"/>	世帯	<input type="checkbox"/>	団体	<input type="checkbox"/>	その他	<input type="checkbox"/>	内部管理	根拠法令等 (1) 杉並区立子供園条例 (2) 杉並区立子供園条例施行規則				
	事業の目的・目標	(対象をどのような状態にしたいのか) ○子供園として保護者の就労形態に関わらず幼児を受け入れ、教育及び保育を一体的に行います。 ○幼児の発達段階に応じた教材の整備や施設・設備の安全確保を図り、園児により良い教育環境を提供します。 ○在園児の保護者の方が一時的に保育を必要とする場合、一時保育を行っています。					活動指標名(式) (1) 区立子供園の園児数 (2) 安全と評価された遊具数									
	活動内容	(事務事業の内容、やり方、手順) ○子供園施設の維持管理や教材用品の購入等					成果指標 ※(代)=適当な指標がない場合の代替指標 成果指標名(1) 区立子供園定員充足率 算定式・指標の説明等 園児数/定員 成果指標名(2) 遊具安全点検安全評価率 算定式・指標の説明等 安全評価遊具数/全遊具数									
区分		単位	20年度		21年度		22年度		23年度		計画(目標値)に対する22年度の達成率 %					
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	実績							
指標	活動指標(1)	①	人	—	—	—	176	156	380	88.6						
	活動指標(2)	②	遊具	—	—	—	12	8	18	66.7						
	成果指標(1)	③	%	—	—	—	100	88.6	100	88.6						
	成果指標(2)	④	%	—	—	—	100	66.7	100	66.7						
総事業費・コスト把握	事業費	⑤	千円	—	—	—	58,229	48,333	82,385	22年度予算執行率% 83.0						
	(内)投資的経費等	⑥	千円	—	—	—	27,434	19,508	1,600	特記事項 22年度は下高井戸子供園、堀ノ内子供園の2園を運営しました。 23年度は高円寺北子供園、成田西子供園を合わせた4園を運営します。						
	(内)委託費	⑦	千円	—	—	—	29,659	21,406	5,370							
	職員数(常勤 非常勤)	⑧	人				14.70 3.00	14.70 3.00	29.60 10.00							
	人件費	⑨	千円	0	0	0	131,124	131,124	264,032							
	(内)非常勤職員分	⑩	千円	0	0	0	8,850	8,850	29,500							
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪	千円	0	0	0	198,203	188,307	375,917							
	単位あたりコスト(⑪-⑥)÷①	⑫	円	0	0	0	970,278	1,082,045	985,045							
	財源	⑬	千円	—	—	—	18,683	16,385	44,051							
	国からの補助金等	⑭	千円	—	—	—	30	37	67							
	都からの補助金等	⑮	千円	—	—	—	0	0	0							
	その他の補助金等	⑯	千円	—	—	—	0	0	0							
特定財源計⑬+⑭+⑮+⑯	⑰	千円	0	0	0	18,713	16,422	44,118								
差引:一般財源⑰-⑬	⑱	千円	0	0	0	179,490	171,885	331,799								
受益者負担比率⑱÷⑪		%				9.4	8.7	11.7								

平成23年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 300

22年度の事業実施状況	(1) 主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
				建物保守管理委託	2
		光熱水費	2	園	3,078
		備品費	2	園	661
		下高井戸子供園及び堀ノ内子供園空調機改修費	2	園	18,848
		その他 (教材費等購入)	24,677		
	(2) 事業実績	教材の整備及び施設・設備の安全確保を図り、より良い教育環境を整備するとともに、22年度から子供園に転換した下高井戸子供園及び堀ノ内子供園の空調機改修を行いました。 また、在園児の保護者の方が、子供園の全員保育時間外に仕事、小中学校の行事、PTA活動、通院、リフレッシュ等で一時的に保育を必要とされる場合に、通常の保育時間に引き続き1時間単位でお子さんをお預かりする一時保育を実施しています。			

協働等点検	(1) 協働等は実現しているか <input type="text" value="十分に実現している"/>	(2) 協働等の相手 <input type="text" value="企業・個人事業者((3)へ)"/>	
	(3) 協働等の形態 <input type="text" value="委託 [業務量の50%以上に相当]"/>	(4) 協働等の今後のあり方 <input type="text" value="実施継続"/>	

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	平成22年度から下高井戸子供園と堀ノ内子供園は新たな幼保一体化施設として開設しました。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	平成22年度から開設しましたが施設自体は旧幼稚園の園舎をそのまま活用しているため、各園とも施設の老朽化が進み、施設設備の改善や修繕の要望等が多く寄せられています。
	今後の予測	施設の老朽化が進むと不具合が目立つようになり、修繕費の増加が予想されます。
評価と課題		平成22年度の子供園の開設にあたっては、限られた財源の中で教材の購入、施設・設備の整備などを効率的に行いました。今後幼稚園の子供園化を進める中で、子供園運営事務と保育園運営事務のうち共通する事務に関しては可能な限り整理・統合に取り組み、より一層の事務の効率化を図っていきます。

改善・見直しの方向 (中長期)	今後の方向性 (見直しの視点)	I 事業の方向性	<input checked="" type="radio"/> 拡 充 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 縮 小 <input type="radio"/> 廃 止
		II 事業の改善	<input type="radio"/> 事業内容の変更 <input type="radio"/> 実施方法の変更
先行して開設した2園の運営等について検証及び評価を行いながら、現在開設している子供園4園の運営に改善点を反映し、運営の充実を図っていきます。さらに、国の「子ども・子育て新システム」や区の新基本構想及び総合計画の検討状況等を踏まえながら、25年度以降の区立幼稚園2園の子供園への移行方針を策定・公表し、それに基づき計画的に取組を進めます。			

特記事項	
------	--

平成23年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 301

22年度の事業実施状況	(1) 主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		施設保守管理委託(清掃、警備、各種点検、樹木選定 など)			
		光熱水費			124,292
		施設維持管理(建物維持補修、各種設備修理、用品購入 など)			72,518
		施設整備(園庭緑化、GHP冷暖房設備賃貸借)			54,272
		その他 (謝礼金ほか)			0
	(2) 事業実績	区立保育園の維持管理について、この事業で幅広く行っています。施設の小修繕を中心に、各種点検や清掃・警備業務、光熱水費や園に必要な物品の購入など、様々な業務等を取り扱いながら管理をしています。なお、大規模修繕については、年次修繕計画に基づいて営繕課で実施しています。			

協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 一部実現している	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者((3)へ)	
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%未満に相当]	(4) 協働等の今後のあり方 実施継続	

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	園舎の老朽化に伴い、補修・改修すべき箇所が増大してきています。また、生活水準の向上やライフスタイルの変化に伴い、施設・設備のレベルアップや防犯対策の面でも改修を求められています。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	園児の安全対策についての要望があります。
	今後の予測	園舎の老朽化が一層進行し、大規模な改修が必要となる園が増加するため、今後もさらに計画的な改修が必要です。また、男性保育士の増加に伴い更衣室やトイレの改修も必要となります。
	評価と課題	区立保育園は昭和36年から開設され、老朽化した施設は順次改築等をしてきたが、なお開設から年数が経過している保育園が多く、改修等の要望が多い中、限られた予算で計画的に施設の維持管理を行っています。今後も、引き続き、園児の安全を第一に考えながら、計画性を持った対応をしていきます。

改善・見直しの方向 (中長期)	今後の方向性 (見直しの視点)	I 事業の方向性	○ 拡 充 ● 現状維持 ○ 縮 小 ○ 廃 止
		II 事業の改善	○ 事業内容の変更 ○ 実施方法の変更
	安全安心な日々の保育を実施するためには、施設を良好な状態に維持することが欠かせません。一方で施設改修等には多額の費用を要するため、これまで施設改修等については計画的に進めてきましたが、今後、東北大震災の影響等による区税収入の大幅減少が予想される中で、より緊急度や重要度を精査したうえでの対応が必要となります。また、運営の効率化と民間のノウハウを生かした保育サービスの提供を図るために、保育園の公設民営化についても、園児の安全確保を第一に考えながら、これまで以上に計画的に取り組んでいきます。		

特記事項	
------	--

平成23年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		保育園の耐震改修		款	4	項	2	目	3	事業	8	整理番号	304
担当部課名		保健福祉部保育課		係名	保育施設計画		連絡先電話番号	1388		昨年度整理番号	298		
上位施策No・施策名		24 保育の充実		予算事業区分								投資事業	
事務事業の概要	事業開始	平成	▼	20	年度	<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野		政策番号	施策番号	事業コード	<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 主要事業		
	対象	<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理		保育園		根拠法令等		(1) 杉並区耐震改修促進計画 (2)					
	事業の目的・目標	(対象をどのような状態にしたいのか)		○耐震改修促進計画に基づき、耐震化整備を進めます。		活動指標名(式)		(1) 耐震診断・改修実施園数 (2)					
	活動内容	(事務事業の内容、やり方、手順)		○耐震診断を行い、その結果に基づき改修等必要な対策を進める。		成果指標		※(代)=適当な指標がない場合の代替指標 成果指標名(1) 耐震診断・改修実施園数(代) 算定式・指標の説明等 成果指標名(2) 算定式・指標の説明等					
区分		単位	20年度		21年度		22年度		23年度		計画(目標値)に対する22年度の達成率 %		
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	実績				
指標	活動指標(1)	①	園	2	2	2	1	1	1	100.0			
	活動指標(2)	②											
	成果指標(1)	③	園	2	2	2	1	1	1	100.0			
	成果指標(2)	④											
総事業費・コスト把握	事業費	⑤	千円	3,715	3,330	3,169	5,017	786	39,500	22年度予算執行率% 15.7			
	(内) 投資的経費等	⑥	千円	3,715	3,330	3,169				特記事項 阿佐谷南保育園の耐震改修工事における耐震補強方法の見直しにより、計画変更となったことによる執行残			
	(内) 委託費	⑦	千円	2,859	2,782	2,781	4,230	0	39,500				
	職員数(常勤 非常勤)	⑧	人	0.10 0.00	0.00 0.00	0.20 0.00	0.20 0.00	0.20 0.00	1.00 0.30				
	人件費	(内) 常勤職員分(超勤分含)	⑨	千円	905	0	1,776	1,784	1,784				8,920
		(内) 非常勤職員分	⑩	千円	0	0	0	0	885				
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪	千円	4,620	3,330	4,945	6,801	2,570	49,305				
	単位あたりコスト(⑪-⑥)÷①	⑫	円	452,500	0	888,000	6,801,000	2,570,000	49,305,000				
	財源	受益者負担分	⑬	千円	0	0	0	0	0				
		国からの補助金等	⑭	千円	0	0	0	0	0				
		都からの補助金等	⑮	千円	0	0	0	0	0				
その他の補助金等		⑯	千円	0	0	0	0	0					
特定財源計(⑬+⑭+⑮+⑯)		⑰	千円	0	0	0	0	0					
差引: 一般財源(⑪-⑰)		⑱	千円	4,620	3,330	4,945	6,801	2,570	49,305				
受益者負担比率⑬÷⑪	⑲	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					

平成23年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 304

22年度の事業実施状況	(1) 主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		都建設事業負担金	1	所	786
		その他 ()			0
	(2) 事業実績	都営住宅との合築施設である堀ノ内東保育園(堀ノ内東児童館)について、東京都との協定に基づき耐震補強に伴う実施設計をおこないました。			

協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者((3)へ)	
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当]	(4) 協働等の今後のあり方 実施継続	

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	20年3月に策定した耐震改修促進計画に基づき区立施設の耐震診断を実施し、診断結果を基に計画的に耐震化整備を行っています。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	
	今後の予測	杉並区耐震改修促進計画に基づく区立施設の耐震化整備プログラムにより、耐震化整備を進めて行きます。
	評価と課題	耐震改修計画に基づいて20年度に実施した耐震診断の結果により、耐震化整備を進めています。都営住宅との合築施設においては、東京都と協議を行う必要があります。耐震改修の実施にあたっては、保育を継続に配慮しつつ行う必要があります。

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業の方向性	○ 拡 充 ● 現状維持 ○ 縮 小 ○ 廃 止
		II 事業の改善	○ 事業内容の変更 ○ 実施方法の変更
	杉並区耐震改修促進計画に基づき、引き続き保育園の耐震改修を行いますが、東北大震災により保護者の関心が非常に高まっていることから、合築施設について都との協議を促進し、できる限り早期の対応を図ります。		

特記事項	
------	--

平成23年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		保育施設の改修		款	4	項	2	目	3	事業	12	整理番号	306			
担当部課名		保健福祉部保育課		係名	管理係			連絡先電話番号	1373		昨年度整理番号	301				
上位施策No・施策名		24 保育の充実		予算事業区分								投資事業				
事務事業の概要	事業開始	平成	▼	21	年度	<input type="checkbox"/>	実施計画事業		分野	政策番号	施策番号	事業コード	<input type="checkbox"/>	行革計画事業	<input type="checkbox"/>	主要事業
	対象	<input checked="" type="checkbox"/>	個人	<input type="checkbox"/>	世帯	<input checked="" type="checkbox"/>	団体	<input type="checkbox"/>	その他	<input type="checkbox"/>	内部管理	根拠法令等 (1) 杉並区立地域区民センター及び区民集会所条例 (2)				
	改修:	地域住民、施設利用者														
	事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	○平成23年度から始まる杉並清掃工場の建替工事に備え仮設熱源を設置するとともに、改修により老朽化した設備の更新、耐震補強工事、諸室の配置や機能の見直しなどを行うことにより、利用者にとって安全で使いやすい施設にします。										活動指標名(式) (1) (2)				
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	○建替工事に伴い、ひととき保育高井戸の改修を行う。 ○平成21年度に耐震診断及び基本設計を行う。 ○平成22年度に実施設計及び改修中の代替施設の確保を行う。 ○平成23～24年度上半期に改修工事を行う。 ○設計から完成まで、地域住民及び利用者との意見交換に努める。										成果指標 ※(代)=適当な指標がない場合の代替指標 成果指標名(1) 改修工事進捗率 算定式・指標の説明等 設計、工事、周辺整備を含む 成果指標名(2) 算定式・指標の説明等					
区分		単位	20年度		21年度		22年度			23年度		計画(目標値)に対する22年度の達成率 %				
			実績		計画	実績		計画(目標値)		実績						
指標	活動指標(1)	①														
	活動指標(2)	②														
	成果指標(1)	③	%		30.0	30.0	30.0	30.0	30.0	30.0	30.0	100.0				
	成果指標(2)	④														
総事業費・コスト把握	事業費	⑤	千円	0	874	610	21,814	19,206	46,942	22年度予算執行率% 88.0						
	(内)投資的経費等	⑥	千円	0	874	610	21,814	19,206	46,942	特記事項						
	(内)委託費	⑦	千円	0	874	610	19,233	18,328	25,864							
	職員数(常勤 非常勤)	⑧	人	0.00 0.00	0.10 0.00	0.10 0.00	0.20 0.00	0.20 0.00	1.00 0.20							
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	⑨	千円	0	888	888	1,784	1,784	8,920						
		(内)非常勤職員分	⑩	千円	0	0	0	0	0	590						
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪	千円	0	1,762	1,498	23,598	20,990	56,452							
	単位あたりコスト(⑪-⑥)÷①	⑫	円													
	財源	受益者負担分	⑬	千円	0	0	0	0	0	0						
		国からの補助金等	⑭	千円	0	0	102	0	0	0						
		都からの補助金等	⑮	千円	0	0	0	0	0	0						
		その他の補助金等	⑯	千円	0	0	0	0	0	0						
特定財源計(⑬+⑭+⑮+⑯)		⑰	千円	0	0	102	0	0	0							
差引:一般財源(⑪-⑰)		⑱	千円	0	1,762	1,396	23,598	20,990	56,452							
受益者負担比率⑬÷⑪	⑲	%		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0								

平成23年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 306

22年度の事業実施状況	(1) 主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		実施設計の作成	1	所	2,191
		建設工事	1	所	15,358
		仮設建物の賃借、引越	1	所	1,242
		その他（ 工事監理委託 ）			415
(2) 事業実績	建物の耐震診断を行うとともに、改修連絡会及び改修計画説明会の結果を踏まえて基本設計・実施設計を完了しました。また、代替施設にひととき保育高井戸を移転しました。				

協働等点検	(1) 協働等は実現しているか	(2) 協働等の相手	
	十分に実現している	NPO・ボランティア・市民活動団体((3)へ)	
	(3) 協働等の形態	(4) 協働等の今後のあり方	
	協働[実行委員会・協議会]	実施継続	

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	改修対象の建物は平成58年4月1日に開設され、それ以来、建物内の各施設は地域の多くの住民にとって、コミュニティ推進、福祉・健康の向上に無くてはならないものとなっています。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	地域代表、利用者代表及び区職員で構成する改修連絡会で意見交換を行うとともに、平成22年4月には改修基本設計説明会を実施し、地域代表等から出された意見要望を検討のうえ、実施設計に反映させるよう努力しました。平成22年9月には工事期間中の代替施設となる仮設建物の工事説明会、平成23年3月には改修工事説明会を行い、工事の内容について説明するとともに、ご質問等にお答えし、近隣住民及び利用者の理解に努めました。
	今後の予測	平成24年度に改修工事は竣工する予定です。
評価と課題		改修工事は予定通り進行しており、平成24年度には竣工する予定です。

改善・見直しの方向（中長期）	今後の方向性（見直しの視点）	I 事業の方向性	○ 拡 充 ○ 現 状 維 持 ○ 縮 小 ● 廃 止
		II 事業の改善	○ 事業内容の変更 ○ 実施方法の変更
	平成24年度に改修工事は竣工する予定です。		

特記事項	
------	--

平成23年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		杉並区保育室の整備		款	4	項	2	目	3	事業	14	整理番号	307	
担当部課名		保健福祉部保育課		係名	保育施設計画		連絡先電話番号	1388		昨年度整理番号	302			
上位施策No・施策名		24 保育の充実		予算事業区分								投資事業		
事務事業の概要	事業開始	平成	▼	20	年度	<input type="checkbox"/> 実施計画事業	分野	政策番号	施策番号	事業コード	<input type="checkbox"/> 行革計画事業	<input type="checkbox"/> 主要事業		
	対象	<input type="checkbox"/> 個人	<input type="checkbox"/> 世帯	<input type="checkbox"/> 団体	<input checked="" type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 内部管理	根拠法令等	(1) 杉並区保育室事業実施要綱 (2)						
	事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	○区保育室を整備することにより待機児の解消を図ります。						活動指標名(式)	(1) 区保育室数 (2)					
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	○22年度中に5か所の区保育室を整備する。						成果指標	※(代)=適当な指標がない場合の代替指標					
	成果指標名(1)	定員増を図れた人数(区保育室定員数)						算定式・指標の説明等						
	成果指標名(2)							算定式・指標の説明等						
区分		単位	20年度		21年度		22年度				23年度	計画(目標値)に対する22年度の達成率 %		
			実績		計画	実績	計画(目標値)		実績	計画				
指標	活動指標(1)	①	所		9	8	13	13	17	100.0				
	活動指標(2)	②												
	成果指標(1)	③	人	—	180	167	349	363	529	104.0				
	成果指標(2)	④												
総事業費・コスト把握	事業費	⑤	千円	52,985	193,680	180,296	42,008	39,013	46,340	22年度予算執行率%	92.9			
	(内) 投資的経費等	⑥	千円	52,985	193,680	180,296				特記事項				
	(内) 委託費	⑦	千円	51,896	165,799	155,485	40,626	38,232	41,340					
	職員数(常勤 非常勤)	⑧	人	1.58 0.10	1.00 0.00	1.50 0.00	0.60 0.00	0.40 0.00	1.20 0.30					
	人件費	(内) 常勤職員分(超勤分含)	⑨	千円	14,299	8,879	13,319	5,352	3,568	10,704				
		(内) 非常勤職員分	⑩	千円	280	0	0	0	0	885				
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪	千円	67,564	202,559	193,615	47,360	42,581	57,929					
	単位あたりコスト(⑪-⑥)÷①	⑫	円		986,556	1,664,875	3,643,077	3,275,462	3,407,588					
	財源	受益者負担分	⑬	千円	0	0	0							
		国からの補助金等	⑭	千円	0	0	0							
都からの補助金等		⑮	千円	0	0	109,800								
その他の補助金等		⑯	千円	0	0	0								
特定財源計(⑬+⑭+⑮+⑯)		⑰	千円	0	0	109,800	0	0	0					
差引: 一般財源(⑪-⑰)		⑱	千円	67,564	202,559	83,815	47,360	42,581	57,929					
受益者負担比率⑬÷⑪	⑲	%		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						

平成23年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 307

22年度の事業実施状況	(1) 主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		調査及び設計	1	所	5,985
		備品購入	1	所	781
		新設・改修工事	0.4	所	32,247
		その他 ()			0
(2) 事業実績		急増する保育需要に対応するための緊急対策として、区施設の空きスペース等を活用した区保育室の整備を行い、直営型保育室を1所(28人)、委託型保育室を4所(102人)を開所しました。また、23年度に向けて新たな保育室の設置に取り組みました。			

協働等点検	(1) 協働等は実現しているか	(2) 協働等の相手	
	一部実現している	企業・個人事業者((3)へ)	
	(3) 協働等の形態	(4) 協働等の今後のあり方	
	委託 [業務量の50%以上に相当]	実施継続	

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	深刻化する不況などの影響により保育需要が急増したことから、区では待機児童を解消するための緊急対策として、区保育室を設置することとし、21年度中に8所、22年度中に5所開設しました。また21年9月に策定された『保育に関する安全・安心プラン』に基づき、23年度に向けた更なる整備を行いました。区保育室の設置基準は認可保育園の基準を準用しており、良好な保育環境を確保しています。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	保育園入所待機児のための緊急対策として短期間で希望者を入所させることができたため好評でした。
	今後の予測	今後も保育需要は、増えるものと見込まれます。
評価と課題		保育室の整備は、保育所入所待機児に対応するための緊急対策として進めてきました。20年度末から整備に取り組み、22年度までに13所(定員351人)の保育室を開設しました。今後は、暫定施設である保育室のあり方について検討する必要があります。

改善・見直しの方向 (中長期)	今後の方向性 (見直しの視点)	I 事業の方向性	○ 拡 充 ● 現状維持 ○ 縮 小 ○ 廃 止
		II 事業の改善	● 事業内容の変更 ○ 実施方法の変更
		20年度から整備を進めてきた区保育室は、5年間程度の暫定的な設置を前提としており、初期施設は3年目を迎えたことから、今後の区保育室のあり方についての検討が急務となっています。区保育室のあり方については、今後策定する予定の保育に関する新たなプランの中で、認可保育園の分園化や区立施設の有効活用による再配置等、総合的に検討のうえ再構築を図っていきます。	

特記事項	
------	--

平成23年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		(仮称)清水三丁目保育所建設		款	4	項	2	目	3	事業	17	整理番号	308			
担当部課名		保健福祉部保育課		係名	保育施設計画		連絡先電話番号	1388		昨年度整理番号	305					
上位施策No・施策名										24	保育の充実		予算事業区分		投資事業	
事務事業の概要	事業開始		平成	▼	21	年度	<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野		政策番号	施策番号	事業コード	<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 主要事業				
	対象		<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等		(1) 児童福祉法第35条、第45条、同法施行令第21条 (2) 児童福祉施設最低基準									
	事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)		○認可保育所の整備により、待機児解消を図ります。		活動指標名(式)		(1) 工事出来高 (2)									
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		○22年度中に認可保育所を整備し開所する。		成果指標		※(代)=適当な指標がない場合の代替指標									
				成果指標名(1)		建設による受託児童増加数										
				算定式・指標の説明等		保育定員										
				成果指標名(2)												
				算定式・指標の説明等												
区分		単位	20年度		21年度		22年度		23年度		計画(目標値)に対する22年度の達成率 %					
			実績		計画		実績		計画(目標値)			実績				
指標	活動指標(1)		①	%		40	40	100	100			100.0				
	活動指標(2)		②													
	成果指標(1)		③	人		56	0	56	56			100.0				
	成果指標(2)		④													
総事業費・コスト把握	事業費		⑤	千円	0	38,250	35,514	48,950	47,942			22年度予算執行率% 97.9				
	(内) 投資的経費等		⑥	千円	0	38,250	35,514					特記事項				
	(内) 委託費		⑦	千円	0	38,250	35,514	47,390	46,447							
	職員数(常勤 非常勤)		⑧	人	0.00 0.00	0.40 0.00	0.40 0.00	0.50 0.00	0.40 0.00							
	人件費	(内) 常勤職員分(超勤分含)	⑨	千円	0	3,552	3,552	4,460	3,568			0				
		(内) 非常勤職員分	⑩	千円	0	0	0	0	0			0				
	総事業費⑤+⑨+⑩		⑪	千円	0	41,802	39,066	53,410	51,510			0				
	単位あたりコスト(⑪-⑥)÷①		⑫	円		88,800	88,800	534,100	515,100							
	財源	受益者負担分		⑬	千円	0	0	0								
		国からの補助金等		⑭	千円	0	0	0								
		都からの補助金等		⑮	千円	0	0	0								
		その他の補助金等		⑯	千円	0	0	0								
特定財源計⑬+⑭+⑮+⑯		⑰	千円	0	0	0	0	0			0					
差引:一般財源⑰-⑬		⑱	千円	0	41,802	39,066	53,410	51,510			0					
受益者負担比率⑬÷⑪			%		0.0	0.0	0.0	0.0								

平成23年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 308

22年度の事業実施状況	(1) 主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
				(仮称)清水三丁目保育所建設工事	1
		その他 ()			0
	(2) 事業実績	22年9月に建設工事が完了し、10月に認可保育園の分園として開所しました。			

協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している ▼	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者((3)へ) ▼	
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] ▼	(4) 協働等の今後のあり方 実施継続 ▼	

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	21年9月に策定された『保育に関する安全・安心プラン』に基づき、清水三丁目の区の資材置き場を活用して認可保育所の建設工事を行い、22年10月に私立保育園の分園として開設しました。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	待機児童の増加に伴い、保育施設の整備への要望が多くなっています。
	今後の予測	保育需要の増加が見込まれることから、今後も待機児解消に向けた対策が必要となります。
	評価と課題	22年10月から私立保育園の分園として開所し、運営しています。

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業の方向性	○ 拡 充 ○ 現 状 維 持 ○ 縮 小 ● 廃 止
		II 事業の改善	○ 事業内容の変更 ○ 実施方法の変更
	22年9月に建設工事が完了したため、事業は終了となります。		

特記事項	
------	--

平成23年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		保育施設建設助成		款	4	項	2	目	3	事業	19	整理番号	310
担当部課名		保健福祉部保育課		係名	管理係			連絡先電話番号	1372		昨年度整理番号	306	
上位施策No・施策名		24 保育の充実		予算事業区分							新規事業		
事務事業の概要	事業開始	平成	▼	21	年度	<input type="checkbox"/> 実施計画事業	分野		政策番号	施策番号	事業コード	<input type="checkbox"/> 行革計画事業	<input type="checkbox"/> 主要事業
	対象	<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 社会福祉法人又は民法第34条の規定により設置された法人			根拠法令等	(1) 杉並区私立保育所施設整備補助金交付要綱 (2) 杉並区私立杉並の家保育園浜田山第二分園整備費補助要綱							
	事業の目的・目標	(対象をどのような状態にしたいのか) ○保育所運営の安定及び入所児童の安全で快適な保育を確保します。			活動指標名(式)	(1) 補助金交付件数 (2)							
	活動内容	(事務事業の内容、やり方、手順) ○私立保育所の施設を整備するために要する経費の一部を補助する。			成果指標	※(代)=適当な指標がない場合の代替指標 成果指標名(1) (代)補助金交付件数 算定式・指標の説明等 成果指標名(2) 算定式・指標の説明等							
区分		単位	20年度		21年度		22年度			23年度		計画(目標値)に対する22年度の達成率 %	
			実績		計画	実績	計画(目標値)		実績		計画		
指標	活動指標(1)	①	件		1	1	1	3	1	300.0			
	活動指標(2)	②											
	成果指標(1)	③	件		1	1	1	3	1	300.0			
	成果指標(2)	④											
総事業費・コスト把握	事業費	⑤	千円	0	9,925	9,924	137,726	136,357	77,322	22年度予算執行率% 99.0			
	(内)投資的経費等	⑥	千円	0	9,925	9,924	137,726	136,357	77,322	特記事項			
	(内)委託費	⑦	千円	0	0	0	0	0	0				
	職員数(常勤 非常勤)	⑧	人	0.00 0.00	0.10 0.00	0.10 0.00	0.20 0.00	0.20 0.00	0.20 0.00	0.20 0.00	22年度は建設助成2所、分園開設準備経費1所に対し助成しました。 建設助成1所は21、22年度の2ヵ年工事で23年2月に工事完了し、22年度は工事出来高実績(92%)を助成しました。残る建設助成1所は22~24年度の3ヵ年工事で25年2月工事完了予定。22年度は工事出来高実績(4%)に対し助成をしました。残りは23年度(36%)、24年度(40%)に助成する予定です。 国からの補助金等の金額は、都が国からの「子育て支援対策特例交付金」により設置した「安心こども基金」による都の補助金額です。		
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	⑨	千円	0	888	888	1,784	1,784	1,784			
		(内)非常勤職員分	⑩	千円	0	0	0	0	0	0			
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪	千円	0	10,813	10,812	139,510	138,141	79,106				
	単位あたりコスト(⑪-⑥)÷①	⑫	円		888,000	888,000	1,784,000	594,667	1,784,000				
	財源	受益者負担分	⑬	千円	0	0	0						
		国からの補助金等	⑭	千円	0	5,671	5,671	85,824	63,931	44,184			
都からの補助金等		⑮	千円	0	1,417	1,417	17,531	46,376	11,046				
その他の補助金等		⑯	千円	0	0	0							
特定財源計(⑬+⑭+⑮+⑯)		⑰	千円	0	7,088	7,088	103,355	110,307	55,230				
差引:一般財源(⑰-⑬)		⑱	千円	0	3,725	3,724	36,155	27,834	23,876				
受益者負担比率⑬÷⑪	⑲	%		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					

平成23年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		(仮称)阿佐谷南一丁目認可保育所整備						款	4	項	2	目	3	事業	20	整理番号	311							
担当部課名		保健福祉部保育課						係名	保育施設計画			連絡先電話番号	1388	昨年度整理番号	新									
上位施策No・施策名												24	保育の充実			予算事業区分						投資事業 新規事業		
事務事業の概要	事業開始		平成	▼	22	年度	<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野		政策番号	施策番号	事業コード	<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 主要事業												
	対象 <input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理								根拠法令等		(1) 児童福祉法第35条、第45条、同施行令第21条 (2) 児童福祉施設最低基準													
	事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか) ○認可保育所の整備により、待機児解消を図ります。								活動指標名(式)		(1) 工事出来高 (2)													
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) ○22年度中に認可保育所を整備し開所する。								成果指標		※(代)=適当な指標がない場合の代替指標 成果指標名(1) 建設による受託児童増加数 算定式・指標の説明等 保育定員 成果指標名(2) 算定式・指標の説明等													
区分		単位	20年度		21年度		22年度				23年度		計画(目標値)に対する22年度の達成率 %											
			実績		計画		実績		計画(目標値)		実績		計画											
指標	活動指標(1)		①						100	100				100.0										
	活動指標(2)		②																					
	成果指標(1)		③	人					34	34				100.0										
	成果指標(2)		④																					
総事業費・コスト把握	事業費		⑤	千円					66,721	64,340				22年度予算執行率% 96.4										
	(内)投資的経費等		⑥	千円										特記事項										
	(内)委託費		⑦	千円					64,592	62,825														
	職員数(常勤 非常勤)		⑧	人					0.50	0.00	0.40	0.00												
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)		⑨	千円	0	0	0	4,460	3,568				0										
		(内)非常勤職員分		⑩	千円	0	0	0	0	0				0										
	総事業費⑤+⑨+⑩		⑪	千円	0	0	0	0	71,181	67,908				0										
	単位あたりコスト(⑪-⑥)÷①		⑫	円					711,810	679,080														
	財源	受益者負担分		⑬	千円																			
		国からの補助金等		⑭	千円																			
		都からの補助金等		⑮	千円																			
		その他の補助金等		⑯	千円																			
特定財源計(⑬+⑭+⑮+⑯)		⑰	千円	0	0	0	0	0	0			0												
差引:一般財源(⑰-⑬)		⑱	千円	0	0	0	0	71,181	67,908				0											
受益者負担比率⑬÷⑪		⑳	%					0.0	0.0															

平成23年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 311

22年度の事業実施状況	(1) 主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
				(仮称)阿佐谷南一丁目認可保育所建設工事	1
		その他 ()			0
	(2) 事業実績	23年3月に改修工事が完了し、4月に認可保育園の分園として開所しました。			

協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している ▼	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者((3)へ) ▼	
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] ▼	(4) 協働等の今後のあり方 実施継続 ▼	

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	21年9月に策定された『保育に関する安全・安心プラン』に基づき、阿佐谷南一丁目の区の施設を活用し、認可保育所の建設工事を行い、23年3月に建設工事が完了しました。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	待機児の増加に伴い、保育施設の整備に関する要望が多くなっています。
	今後の予測	保育需要の増加に伴い、今後も待機児解消に向けた対策が必要となります。
	評価と課題	23年4月から私立保育園の分園として開所し、運営しています。

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業の方向性	○ 拡 充	○ 現 状 維 持	○ 縮 小	● 廃 止
		II 事業の改善	○ 事業内容の変更		○ 実施方法の変更	
	23年3月に工事が完了したため、事業は終了となります。					

特記事項	
------	--